

第42回 スガウエザリング財団賞 表彰

■ 科学技術賞

いまづ せつお

今津 節生 奈良大学 学長

糖類を用いた水浸出土文化財の保存

今津氏は、海底などから発見される沈没船等の水浸出土文化財について、1990年代から糖アルコールやトレハロースなどの糖類を使う保存方法を世界に先駆けて開発すると共に、世界各地への普及活動を進めてきた。この方法は、石油由来の従来のPEG法とは異なり、植物由来で環境負荷が少なく、金属錆の劣化抑制にも効果的である。保存処理後は高温多湿の環境でも安定しており、アジアの文化財の保存・展示・活用に大きく貢献している。2019年から2023年まで東アジア文化遺産保存学会第7代会長を務め、2023年8月には東アジアの専門家を集めて『2023 東アジア文化遺産保存国際シンポジウム in 札幌』を主催した。また、日本国内では2021年から日本文化財科学会会長を務めている。

(推薦団体：東アジア文化遺産保存学会)

所属・肩書きは受賞決定当時 敬称略

公益財団法人スガウエザリング技術振興財団